

高等学校 令和 7 年度 (3 学年用)

教科 : 国語

科目 : 応用古典

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 3 学年

教科担当者 : (1組4組 山倉)

使用教科書 : 高等学校 標準古典探求 (第一学習社)

教科の目標 : 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 用言の活用(1)						
	【知識及び技能】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。((1)ア)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典に用いられようとしている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。((1)ア)				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	【指導項目・内容】 ・動詞の活用の種類の見分け方 ・変格活用 (カ変・サ変・ナ変・ラ変) ・上一段活用・下一段活用 ・四段活用 ・上二段活用・下一段活用 ・動詞の音便・自動詞・他動詞と補助動詞	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。((1)ア)		【学びに向かう力、人間性等】 古典に用いられようとしている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。((1)ア)				
1 学 期	2 単元名 用言の活用(2)						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((2)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((2)イ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(1)イ)	【指導項目・内容】 ・形容詞の活用 ・形容動詞の活用 ・形容詞・形容動詞の音便 ・形容詞・形容動詞の語幹の用法	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(1)イ)	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。				
1 学 期	3 単元名 古典の品詞と助動詞の活用						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((3)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((3)イ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(2)イ)	【指導項目・内容】 ・名詞と副詞 ・連体詞・感動詞・接続詞 ・助動詞の分類 ・助動詞の用法 ・格助詞 ・接続助詞	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(2)イ)	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。				
2 学 期	1 単元名 品詞分解・識別						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((4)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((4)イ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(3)イ)	【指導項目・内容】 ・語の識別 ・敬語表現 ・注意すべき敬語表現 ・修辞法	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(3)イ)	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 (3 学年用)

教科：国語

科目：応用古典

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：(1 組 4 組 山倉)

使用教科書：高等学校 標準古典探求 (第一学習社)

教科の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
2 学 期	2 単元名 作品読解(1)						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((5)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((5)イ)	○	○	○	12
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(4)イ)	【指導項目・内容】 ・方丈記 ・枕草子 ・十訓抄	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(4)イ)				
【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。	・問題演習 ・実践問題	【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。					
2 学 期	3 単元名 作品読解(2)						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((6)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((6)イ)	○	○	○	12
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(5)イ)	【指導項目・内容】 ・古今著聞集 ・徒然草 ・伊勢物語	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(5)イ)				
【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。	・問題演習 ・実践問題	【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。					
3 学 期	1 単元名 入試問題・解説						
	【知識及び技能】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)ア)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典に用いられようとしている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ア)	○	○	○	12
	【思考力、判断力、表現力等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようすることができる。	【指導項目・内容】 ・応用問題 ・入試問題解説	【思考力、判断力、表現力等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。				
【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。					